

# 第5期保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)素案への 区民意見募集実施結果について

第5期保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)の策定にあたり、区民の皆さまから素案への意見をいただきました。このたび、意見募集の実施結果をまとめましたので御報告いたします。

## 1 実施概要

### (1) 実施期間

令和7年10月1日(水)から10月31日(金)まで

### (2) 周知方法

#### ア ちらしの配架・配布先

区役所(福祉保健課、区政推進課)、区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザ、地区センター、コミュニティハウス、地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場、ほどがや市民活動センターアワーズ、区内の駅、商業施設、ニコニコフェスタ 等

#### イ 関係会議への説明

区連会、民生委員・児童委員協議会、各地区の地区社会福祉協議会定例会、保健活動推進員定例会、小・中学校長会 等

#### ウ その他

区ウェブサイト、広報よこはま保土ヶ谷区版、X、LINE 等

## 2 実施結果

### (1) 意見総数

総計 36 件(25人)

### (2) 提出方法の内訳

電子申請 17人、電子メール 3人、郵送 3人、持参 2人

### (3) 計画(素案)項目別意見数

項目	意見数
計画全体に関するもの	11 件
1章	0 件
2章 見守り・支えあい に関すること	11 件
2章 いきいき健康 に関すること	1 件
2章 担い手づくり・情報 に関すること	2 件
3章	1 件
その他・計画外のもの (施設整備などのまちづくりに対するご意見等)	10 件

(4) 提出された意見への対応の考え方

項目	意見数
計画に反映するもの	4 件
ご意見の趣旨が計画(素案)に含まれているもの又は、 賛同いただいているもの	16 件
今後の検討の参考とさせていただくもの	6 件
その他(関係部署と共有)	10 件

### 3 いただいたご意見及び対応の考え方一覧

#### (1) 計画に反映するもの

No.	意見	対応の考え方
1	P44地区社協構成メンバー(例)関連分野の団体 保護司・女性会 を 保護司・更生保護女性会 に修正できないでしょうか。	ご意見のとおり、P44 地区社協構成メンバー(例)のうち、「保護司・女性会」を「保護司・更生保護女性会」と修正します。
2	R8-R12 の 5 か年計画を見ましたが R12 年に(何を完了する)の記載がありません、5 年後も状況の調査だけをするつもりですか。数年前から見えていますが相変わらず地域の困り事、地域の状況の集約しかしていません。もう少し前に進みませんか？今現在の行動の実績とその結果を記載して下さい。	ご意見の趣旨を踏まえ、P52「保土ケ谷ほっとなまちづくりのあゆみ」の中に、これまでの計画(第1期～第4期)における取組や成果について記載しました。
3	<p>・「障がい」についてが、一部の偏った情報だけにならないよう、「個性性が高い、多様な障がい」の人皆が対象であるようなメッセージを入れ込んで欲しい。</p> <p>・P21 の 4 つ目の●(個々の支援～)の部分に、障害者地域自立支援協議会も入れ込んでもらいたい。</p> <p>・P27 の「心と身体の健康づくり」のところに、心の健康(メンタルヘルス)について記載を入れ込んで欲しい。生活支援センターや医師会などメンタルヘルス講座などやっているところもあると思います。</p> <p>・P15 あたりに生活支援センターなど心の健康(メンタルヘルス)に関連する相談機関も盛り込んで欲しい。</p> <p>・P16 内に記載のある、「当事者や家族が想いを発信する」「講師を依頼する」ことだけにとどまらず、互いに支え合う「多様なピアサポート」についてもどこかで触れて欲しい。</p> <p>・P17「困っている方の生活を支援」の部分にでも、基幹相談支援センターが出張でイオンで行っている「よろず相談」なども盛り込んで欲しい。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、計画に次の通り追加します。</p> <p>・P16 の「一人ひとりができるとよいことの例」に「同じような経験や境遇の人同士で伝えあう」という一文を追加し、ピアサポートについてを表現したものとします。生活教室については P25「区全体で取り組むこと」に記載しています。</p> <p>・ご意見のとおり P21「区全体で取り組むこと」に「障害者自立支援協議会」を追加します。また、障害のある方の活動についてコラムを作成しますが、そのコラムの冒頭文で、多様な障害のある方についても記載いたします。</p>
4	PTA 活動も学校や地域と協力しながらやっているの で、どこかに触れて欲しい。	ご意見を踏まえ、P15「区全体で取り組むこと」に「PTA 連絡協議会」を追加します。

(2) 意見の趣旨が計画(素案)に含まれているもの又は、賛同いただいているもの

No.	意見	対応の考え方
1	地域 みんなが参加できる新しい行事	地域での交流の場の充実や、参加しやすく地域を知ることのできる機会の創出への期待のコメントとして伺いました。いただいたご意見の趣旨を踏まえ、計画を着実に推進していきます。
2	総じて、目指すまちの姿が良く練られていると思う。 PDCA を回す事で気づき、次に繋ぐサイクルを推進して活動して行くことが出来る。 多様な人たちが地域活動に関心を持ち、参加するには情報の共有が不可欠。どのように発信したら興味を持ってもらえるか、啓発活動に工夫が必要になる。 子供から高齢者までが一緒に参加出来る地域を目指してもらいたいです。	ご意見の趣旨については、P30 テーマ「担い手づくり・情報」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
3	保土ケ谷に色々な取組があることがわかりますし、みんなで一緒に作り上げていこうというメッセージがあると思います。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、計画を着実に推進していきます。
4	災害時に速やかに避難できるよう、全世代、支援困難者を含む地域全体での災害対応訓練を実施して欲しい。	ご意見の趣旨については P12 テーマ「見守り・支えあい」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。
5	挨拶を色々な人にするといいと思います。(ポスターをはる、バスにポスターをはったりする)	ご意見の趣旨については P12 テーマ「見守り・支えあい」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。
6	自治会の力を強めて、飲食店がこども食堂のような役割を果たせばいいと思います。	ご意見の趣旨については P12 テーマ「見守り・支えあい」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。
7	計画に「一人ひとりができるよいことの例」とあり、このような区民をどうやって増やすのか、というのは大変難しいですが、記載されていることはどれも大切な事なので、このように大切な事は、都度確認したり共通認識を持てたりできるよう、言葉にした方が良いので、計画に載せる意味があると思いました。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、計画を着実に推進していきます。

8	災害時や日常での障がい者支援のために各ガイドヘルパー講座を積極的に開いて欲しい。	ご意見の趣旨については P12 テーマ「見守り・支えあい」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。
9	計画である以上、数値や実績の可視化等が求められるかもしれませんが、それだけで終わらないで欲しいと思います。福祉は、長年地道に関わってやっと芽が出たり、それでも成果が表れなかったりすると感じているからです。大事だと考える計画は、地道に続けていってほしいですし、そういった活動を続けている方々にも着目して欲しいと思います。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、計画を着実に推進していきます。
10	見守り支えあいで、「地域と関わりが少なった人とも出会いつながるきっかけがある」と記載があります。福祉の仕事をしている中では、人との関わりを望まず、なかなか支援の手が届かない方もいます。関わりを望まない人でも、適度な距離を保ってさりげなく見守りができる関係が増えると良いと思いました。	ご意見の趣旨については P12 テーマ「見守り・支えあい」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。
11	障がいのある子供を育てる親同士が交流できる場を作って欲しい。以前、何度か集まりがあったが、頓挫してしまっています。 私はダウン症児を育てていて、ダウン症児を育てるご家族を集めての交流会を新横浜のラポールで自主的に主催しています。 そういった情報の発信を保健師さんにチラシを渡してお願いしていますが、4 月になると異動になり、引き継ぎされていない、ということが何度かありました。 せめて情報発信の協力はしっかりやってほしいです。 そして、できれば交流会の開催にも協力してほしいです。	ご意見の趣旨については P12 テーマ「見守り・支えあい」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。
12	毎日、多世代が立ち寄れる雑談ができる居場所が近くに欲しい。(近くにということが重要) 例えば、 ・防犯上難しいかもしれませんが小学校の敷地内に設置する ・管理が難しいかもしれませんが、町内会館での午前中等時間帯を設定し喫茶店のようにお茶、コーヒーが飲め雑談ができる場所 地域での集まりの前に、自治会、町内会での最も身近な班別内での顔合わせの機会を設ける。	ご意見の趣旨については P12 テーマ「見守り・支えあい」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。

13	子育て支援は少しでも多く取り組んで欲しい	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、計画を着実に推進していきます。
14	地域の担い手の育成をしても、その育成事業が隅々まで行き渡っていない。どの事業に関しても隅々まで行き渡ることをまず考えてほしい。	ご意見の趣旨については、P30 テーマ「担い手づくり・情報」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
15	P35: ●若い世代も地域に興味を持てる働きかけをします。 の部分で、小・中・高等学校や企業等への福祉教育『福祉体験』と文言の追加をお願いしたい。車いす体験、視覚障害体験、など自分で体験してみることでより理解が深まる。座学の教育では得られない事を別途体験という文言で表現したい。	P35 では事業の名称である「福祉教育」と記載していますが、福祉教育において車椅子体験や視覚障害者体験などを実施することもあり、ご意見の趣旨は含まれております。ご意見も踏まえながら着実に計画を推進していきます。
16	P18: ●誘いあって、地域のお祭りやイベントに参加する。一人では心細い場合でも誰かと一緒なら行けることもある。 良いことを言っていると思う。しかし、障害を持っている人や高齢の人もイベントや行事に参加したいと思っているが、資源の少なさから外出が困難な実情がありそれがバリアになっている、ということを理解してほしい。文言の追加変更はどうしたら良いかはわからないし、この項目でなくてもよいが、より住民の理解が進むような文言をいれていただきたい。	ご意見の趣旨については P12 テーマ「見守り・支えあい」の目指すまちの姿等に含まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進していきます。

(3) 今後の検討の参考とさせていただくもの

No.	意見	対応の考え方
1	地域活動は大事だと思うのですが、賃貸でどれだけ長く住み続けるか分からないし、活動への参加のきっかけもありません。	いただいたご意見につきまして は、今後の検討の参考にさせていただきます。
2	個人情報の提供について 自治会傘下に老人会、子供会といった組織を編成するのが容易ではない。 会員相互間の連携が希薄になっていることもあって会員の年齢、学齢が自治会として把握できないで頓挫してしまっている。 例えば 75 歳以上の住民や未就園児、小学生以下の子ども達のリストが欲しいとか住民が亡くなったとか火災で被害が出たといった情報の提供に役所が応えることはほとんど不可能かと思われる。そういった個人情報保護のかたくなな運営の結果、住民間の連携を促進するのを助けられていない。十分、お分かりかと思うが、この困難な課題解決に取り組んでもらいたい。	いただいたご意見につきまして は、今後の検討の参考にさせていただきます。
3	<u>感じたこと</u> :内容はこのままでよいと思います。ただし今後の課題としてご検討いただけるとありがたいなと思うことを思い付きのままに記載しました。 ①第4期の目標に対して、計画通りに実行できたこと、むしろ実行できなかったこと、うまくゆかなかったことを強調して、うまくゆかなかったことの内容を分析して次の目標設定につなげてゆくべきではないかと思いました。 ②大変難しいことかと思いますが、できれば言語データを、内容により定量的な、例えば件数%等の数値目標に置き換えることができないか検討する余地があると思います。数値目標であれば達成状況が明確になり対策につなげることが容易になるのではと思いました。言語データと、数値目標の併用を検討していただけるとありがたいのですが？ ③目標計画の達成感を味わうことは、今後継続していくうえでとても大切なことだと思います。苦勞報われて、「よしやろう」という気になるのではないのでしょうか。	いただいたご意見につきまして は、今後の検討の参考にさせていただきます。
4	組織に属さなくても、単発で空いている時に協力できる仕組みがあれば、若い人も地域活動ができるかもしれません。そんな仕組みづくりを進めてほしいです。	いただいたご意見につきまして は、今後の検討の参考にさせていただきます。

5	子育て世代や高齢者に向けては多くの取組があると見て取れ、客観的には安心して暮らせるまちの実現に向けて様々な取組があり、ぜひ進めてほしいと思う一方、主観的には子供のいない働き世代としては響く取組があまりなく、関心を持ちづらく思いました。	いただいたご意見につきまして は、今後の検討の参考にさせていただきます。
6	<p>近くの福祉施設から日常的に聞こえる子どもの大声で、体調を崩してしまいました。これまで何度も施設へ事情を伝えていますが、状況が改善されません。</p> <p>子どもたちにとっても、狭い庭で無理に遊ぶのではなく、周りに迷惑をかけずにのびのびと生活できる場所が望ましいと思います。</p> <p>子どもたちにとって過ごしやすく、周辺住民への配慮もできる環境を整えていくべきではないでしょうか。</p>	いただいたご意見につきまして は、今後の検討の参考にさせていただきます。

#### (4) その他

No.	意見	対応の考え方
1	<p>公園はたくさんあるが、夏や悪天候時に子どもがのびのび遊べる場所がない。</p> <p>乳児がハイハイできる室内の遊び場や商業施設や小学生が身体を動かせるような室内の遊び場や商業施設が保土ケ谷区にもほしい！</p> <p>ゆめが丘ソラトスの室内遊び場が素晴らしく、同じような施設がほしい。</p> <p>天王町イオンはそのような役割になってほしかったが、買い物する場所しかないので残念だった。</p>	いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。
2	障がい者が安心して街を歩くことが出来るため、音の出る信号機の設置、歩道の幅拡充、段差解消を進めて欲しい。	いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。
3	みちが広くなったらいいです。	いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。
4	保土ケ谷区には大学や大きな公園、星天 qlay など賑わい創出に資する場所が複数あり、それ自体とても恵まれていることだと思いますので、それらを活用した賑わい創出やつながりづくりのきっかけとなるような取組をぜひ進めてほしいです。	いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。



5	<p>子どもがミニバスからずっとバスケットボールを続け今年で8年です。</p> <p>保土ケ谷区はバスケットボールを自由に出来るところがとてもとても少ないです。</p> <p>地区センターの体育館を借りても時間が決まっていなかなか予約も取れないことが多く何時間も待ってやっと30分出来るなど、ニーズに対して供給が追いついていません。</p> <p>保土ケ谷スポーツセンターのバスケの時間も中学生は参加出来なかったり年齢が決まってしまうていて参加しづらいです。</p> <p>サッカーや野球は大人の方も好意的な方が多くキャッチボールなど道路でも公園でも苦情になることはありません。公園で、バスケの場合はドリブルをつくだけでもうるさいとわざわざ言いに来られ息子は何回もやめろと言われたそうです。夜間などではなく下校後夕方の時間帯にも関わらず。子どもにスポーツの自由が偏りがあります。</p> <p>新横浜スポーツパークのような、大規模ではなくとも、コンクリートや陸上に使われるようなトラックスポンジ床(音が静かになる)や、ゴールを設置出来る場所を確保してバスケコートを作っていただきたいと切に願っています。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。</p>
6	<p>民生委員制度について</p> <p>後任の人选が容易ではないのはご承知のはず。思い切った対策を早急に検討、実施願いたい。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。</p>
7	<p>有料でもいいので室内で子供達が遊べる広い施設を作りたい。</p> <p>天王町のイオンでもいくつかそういった意見が書いてあるのを見たことがあるので需要はあるかと思います。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。</p>
8	<p>星川駅が高架化になり便利になった反面、和田町駅前バスロータリーなどなく、信号のない横断歩道を渡ろうにも自動車だけでなく自転車やバイクが飛び交い危険です。一度私も轢かれそうになったので、塾や習い事で小さな子どもを一人で行かせることができません。路駐も多く渋滞しているので本当に困っています。</p> <p>『ほっとなまちづくり』『安心していきいきと暮らせるまちづくり』ということですので、ぜひ改善してほしいです。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。</p>

9	<p>西谷駅周辺の開発を進めていただきたいと思います。西谷は新幹線や国道 16 号線などその存在が逆に都市開発を制約してきた地域でもあります。しかし、近年の相鉄・東急直通線および JR 直通線の開通により、都心方面へのアクセスは飛躍的に向上しました。今こそ、この利便性を生かしたまちづくりを推進し、地域の潜在力を発揮する好機だと思います。</p> <p>現在の西谷駅周辺は、交通結節点でありながら商業や居住環境の整備が十分とは言えず、駅前としての魅力が高まっていません。周辺には地主が多く、土地の細分化や権利関係の複雑さが再開発の障壁になっているとも聞いております。こうした課題を乗り越えるためには、行政が中心となり、地権者・地域住民・民間事業者が共に未来像を描く協働の場を設けることが不可欠です。</p> <p>その際、近隣に位置する横浜国立大学の知見を活用することを強く提案します。特に都市科学部の教授陣は、都市計画・建築・交通政策・環境デザインなど幅広い専門分野を有しており、学術的な視点から持続可能なまちづくりの方向性を示すことができると思います。行政・大学・地域が連携することにより、地元の課題を科学的に分析し、将来を見据えた実践的な開発モデルを構築できるのではないのでしょうか。</p> <p>交通インフラの強みを生かしながら、商業・住宅・子育て環境・防災・景観の各分野をバランスよく整備し、「暮らしやすく訪れたくなる西谷」を目指すことを期待します。西谷は保土ヶ谷区の新たな顔となる可能性を秘めたエリアです。地域の力と学術的知見を結集し、魅力あるまちづくりを行政主導でぜひ進めていただきたいと思います。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。</p>
10	<p>自治会町内会の運営について</p> <p>連合会も熱心に運営されているが、連合体として会員相互の情報交換に貢献できていない。</p> <p>連合会組織の運営は一見、しっかりと継続実施されているが、その中身に問題があるとすれば、その補正は構成各自治会町内会でやるのは当然。しかしその補正が適切になされていないとすれば、その補正は誰が担当するかということ。連合会の運営を監査、監督し補正を提言する機能が第三者として役所にあって欲しい。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署に共有させていただきます。</p>

※いただいたご意見は、個人が特定されないよう一部要約しております。